

プロジェクト推進型 起業実証支援 2023 年度終了課題 評価結果

※所属機関・役職は研究開発期間終了時のもの

課題名	研究代表者	事業プロモーター	課題概要	総合評価
宇宙産業で安全に使用できる静電気検知技術の開発	大阪公立大学 大学院工学研究科 電子物理系専攻 准教授 高橋 和	ANRI 株式会社	小型・省エネルギーのシリコンラマンレーザーによる、光を用いた安全性が高い静電気検知技術を実用化する。静電気による事故・機器故障が重要な課題である宇宙分野を手始めに静電気検知装置を製造・販売するベンチャーの設立を目指す。	成長するベンチャー設立には至らなかったが、事業化を目指した研究開発および事業プロモーターによる支援の結果、事業化に向けた進展が認められる。
印刷型有機ELパネルの事業化	山形大学 有機エレクトロニクス イノベーションセンター 教授 硯里 善幸	QB キャピタル 合同会社	印刷型有機ELのインク・プロセス開発と初期製品の開発を行う。IoT化などによる多品種へのニーズに対し、少量多品種生産が可能な印刷型小型有機ELパネルの製造販売を展開するベンチャーの設立を目指す。	成長するベンチャー設立には至らなかったが、事業化を目指した研究開発および事業プロモーターによる支援の結果、事業化に向けた進展が認められる。
新規RNAウイルスベクターを用いた遺伝子治療薬の開発	京都大学 医生物学研究所 教授 朝長 啓造	ジャフコ グループ 株式会社	新規RNAウイルスベクターを用いて、遺伝子導入した幹細胞を患者に移植する遺伝子細胞治療の新しいプラットフォーム技術を開発する。遺伝子発現の効率・持続性が高く、がん化などのリスクの低い、遺伝子細胞治療のスタンダードを提供するベンチャーの設立を目指す。	成長するベンチャー設立には至らなかったが、事業化を目指した研究開発および事業プロモーターによる支援の結果、事業化に向けた進展が認められる。
血流感染症特異的治療薬の開発に向けた大規模スクリーニングとvivoEF阻害剤ライブラリーの構築	北海道大学 大学院獣医学研究院 准教授 佐藤 豊孝	サナメディ 株式会社	感染部位特異的に細菌の生存・発育必須因子を阻害し、抗菌活性を持つ物質を探索する独自のスクリーニング技術を実用化する。多剤耐性菌を含む細菌感染症克服に貢献する創薬プラットフォームの事業化を目指す。	事業化のための適切な研究開発および事業プロモーターによる優れた事業化活動が行われた結果、ベンチャー設立の見込みにとどまらず、その成長に大きな期待が持てる。
個体表現型スクリーニングに立脚した新規治療薬探索基盤の確立	北海道大学 遺伝子病制御研究所 教授 園下 将大	日本戦略投資株式会社 ／ティーエスアイ株式会社 (共同実施機関)	がんをはじめとする疾患のモデルハエを作出・解析して治療薬候補を同定する技術を実用化する。製薬企業などへの創薬支援サービスや自社開発した治療薬候補のライセンシングを行うベンチャーの設立を目指す。	事業化を目指した研究開発および事業プロモーターによる支援の結果、成長するベンチャーの設立が具体化し、次のフェーズに進んでいる。

以上